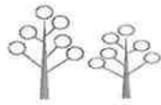


令和6年度 定期予防接種のご案内



予防接種の進め方

令和6年10月発行

- 『**予防接種と子どもの健康**』をよく読みましょう。対象年齢、接種回数、接種間隔、副反応を確認し、健康な時に接種計画を立てましょう。予防接種の種類により接種間隔に注意が必要です。例えば、注射生ワクチンの場合、別の種類の注射生ワクチンの接種を行うまでの間隔は27日以上おくこととなります。同じ種類のワクチンを複数回接種する場合は、ワクチンごとの接種間隔に注意しましょう。
- 持ち物** 母子健康手帳、健康保険証、予診票(医療機関にもあります)、予防接種番号カード(黄色のカード)
- 実施場所** 伊丹市に住民登録があれば、市内予防接種実施医療機関(裏面参照)で接種可。(予約要)(無料)
- やむを得ず市外にある医療機関で予防接種を希望する場合**
市保健センターで事前申請が必要です。(母子健康手帳持参)
- 長期療養を必要とする疾病などのため医師より接種対象年齢の間、接種不可と指示されていた場合**
医師が専用書式に証明し、保健センターで申請すれば回復後2年間接種の対象となります。(条件あり)
- 保護者が同伴できない場合** 予防接種は、まれに副反応が起こることがあります。したがって、お子様の体調をよく知る保護者の同伴が原則です。しかし、諸事情で同伴できない場合は、お子様の体調をよく知る親族などの同伴で接種を受けられます。(保護者の委任状が必要です。)

種類	対象者	回数	接種について	備考
ロタウイルスワクチン (経口生ワクチン)	初回接種は、出生6週0日後～(標準:生後2か月になる前日～)出生14週6日後までに。	2回	ロタリックス(経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン) 1回目は出生14週6日後までに接種を。ただし、出生15週後以降1回目接種は腸重積症の健康被害の発生率が上がります。そのことを了承された場合は定期接種として接種できます。	1回目は出生14週6日後までに接種を。ただし、出生15週後以降1回目接種は腸重積症の健康被害の発生率が上がります。そのことを了承された場合は定期接種として接種できます。
		3回	ロタテック(5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン) 3回(27日以上おいて)は、出生32週0日後までに完了。	
日型肝炎 (不活化ワクチン)	出生後～1歳になる前日	3回	2回(27日以上おいて)接種後、3回目は1回目の接種日より139日(20週)以上おいて、1歳の前日までに接種。標準接種時期:生後2か月、生後3か月、生後7～8か月で接種	出生直後、母子感染予防のため、日型肝炎の予防接種を受けた人は3回とも健康保険での接種対象となります。(定期接種にはなりません)
5種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ) (不活化ワクチン)	生後2か月の前日～7歳6か月になる前日	4回	3回(27日以上おいて)接種後、追加接種は、3回目より6月以上(標準接種間隔6月から18月おいて)1回接種。	R6年4月1日より1回目を接種する方が対象。 ワクチンは、ゴービック、クイントパックの2種類あり、いずれかの同じワクチンを4回接種します。
小児用肺炎球菌感染症(不活化ワクチン) ワクチンは2種類 PCV20価:前回 PCV13価で接種している、R6.10.1以降1回目接種する場合 PCV15価:前回PCV15価を接種	生後2か月になる前日～5歳になる前日 (初回接種開始時期により接種回数が異なります。)	4回	生後7か月の前日までに接種を開始 3回(27日以上おいて)接種後、追加接種は3回目より60日以上おいて、生後12月～15月(2歳まで)に1回接種。2回目は1歳を過ぎたら、3回目は2歳を過ぎたら接種不可。追加接種は実施可。	R6.10.1よりワクチンは2種類(PCV20価、PCV15価)、主にPCV20を使用します。PCV13で接種開始している場合、PCV20に変更します。PCV15価で開始している場合、PCV15価を接種します。
		3回	生後7か月から1歳の前日までに接種を開始 2回(27日以上おいて)接種後、追加接種は1歳以降、2回目より60日以上あけて1回接種。2回目は2歳を過ぎたら接種不可。追加接種は実施可。	
		2回	1歳～2歳の前日までに接種を開始 60日以上おいて2回接種。	
		1回	2歳を過ぎて接種を開始 1回で終了。	

種類	対象者	回数	接種について	備考
結核(BCG) 注射生ワクチン	生後3か月になる前日～1歳になる前日	1回	標準接種時期:生後5か月～8か月	結核性髄膜炎や粟粒結核など小児の重篤な結核発症予防
MR(麻しん風しん) 注射生ワクチン	1期 1歳になる前日～2歳になる前日	1回	人が集まる場所や集団生活の場での麻しん風しんの流行を防ぎます。1歳の早めの時期に接種を。	空気感染、飛沫感染、接触感染による麻しん、風しんの感染を予防します。ワクチンにより95%以上免疫を獲得できます。
	2期 幼稚園、保育所(園)の年長組の年齢相当の人	1回	今年度は、H30年4月2日～H31年4月1日生まれの人は、期間:R6年4月1日～R7年3月31日までに接種を。	
水痘 注射生ワクチン	1歳になる前日～3歳になる前日	2回	1回目は標準:生後12～15か月に接種。2回目は3月以上(標準:6月～12月)の間隔をおいて接種。	既に水痘と診断されたことのある人は接種できない。(医学的に必要がないため)
日本脳炎 (不活化ワクチン)	1期 3歳になる前日～7歳6か月になる前日	3回	2回(6日以上、標準:28日以内おいて)接種。追加接種2回目より6月以上(標準おおよそ1年)の間隔をおいて1回接種。	(特例)生後6月より海外渡航などの理由により接種を希望する場合 定期接種として接種することができます。3歳以上は0.5ml接種ですが、生後3歳の前々日までに接種した場合、接種量0.25mlとなります。(詳しくは保健センターまで)
	2期 9歳になる前日～13歳になる前日	1回	(特例)H19年4月1日以前生まれで20歳になる前日までの人で計4回の残り回数 注)残り回数が複数ある場合は、1回目をH23年5月20日以降に接種している場合、2回目と3回目の接種間隔は6月以上あける必要があります。	
DT2期 (不活化ワクチン)	11歳になる前日～13歳になる前日	1回	幼少期に接種するDPT、4種混合、5種混合ワクチンに含まれるジフテリア・破傷風の追加免疫の予防接種。	
子宮頸がん予防ワクチン (不活化ワクチン)	小学校6年生～高校1年生の年齢に相当する女子	3回 / 2回	ワクチンは3種類。基本的に同じワクチンを接種。予約時はワクチンの種類を伝えること。2価、4価ワクチン:0.2.6月の間隔で3回接種。(完了するのに6か月かかる。)	9価ワクチン:【15歳の前日までに1回目を接種した場合】5月以上あけて2回接種で完了。【15歳の誕生日以降に接種した場合】0.2.6月の間隔で3回接種。 ※キャッチアップ接種対象者は、計3回の残り回数を接種可。接種できる期限は、R7年3月31日まで。(接種完了には約6か月かかりますので9月末までに接種を。)
	2価:サーバリックス 4価:ガーダシル 9価:シルガード9	キャッチアップ接種対象者(H9.4.2～H20.4.1生まれ)で女性	3回	

令和6年3月31日までに4種混合、ヒブの1回目を接種された方は以下のワクチンを接種します。

4種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ) (不活化ワクチン)	生後2か月になる前日～7歳6か月になる前日	4回	3回(27日以上おいて)接種。追加接種は、6月以上(標準接種間隔12月～18月)おいて1回接種。	4種混合、ヒブワクチンで接種を開始している場合、1回目の接種と同じ種類の予防接種を行います。(注意)5種混合ワクチンは接種できません。
ヒブワクチン (不活化ワクチン)	生後2か月になる前日～5歳の前日(初回接種開始時期により接種回数異なります)	4回	生後7か月までに接種を開始 3回(27日以上おいて)接種後、追加接種は3回目より7月以上13月の間隔をおいて1回接種。ただし、2、3回目が1歳を過ぎた場合は接種不可。追加接種は実施可。	
		3回	生後7か月から1歳の前日までに接種を開始 2回(27日以上おいて)接種後、追加接種は7月以上おいて1回接種。2回目が1歳を過ぎた場合は接種不可。追加接種は実施可。	
		1回	1歳～5歳の前日までに接種を開始 1回接種で完了	

伊丹市立保健センター 伊丹市千僧1-1-1 TEL784-8034 / FAX784-3281

※今後制度が変更となることがあります。「広報伊丹」またはホームページでお知らせいたします。